



WIPO が 2016 年の PCT 速報を発表

－ 中国の伸び率が 44.6%増 －

2017 年 3 月 24 日

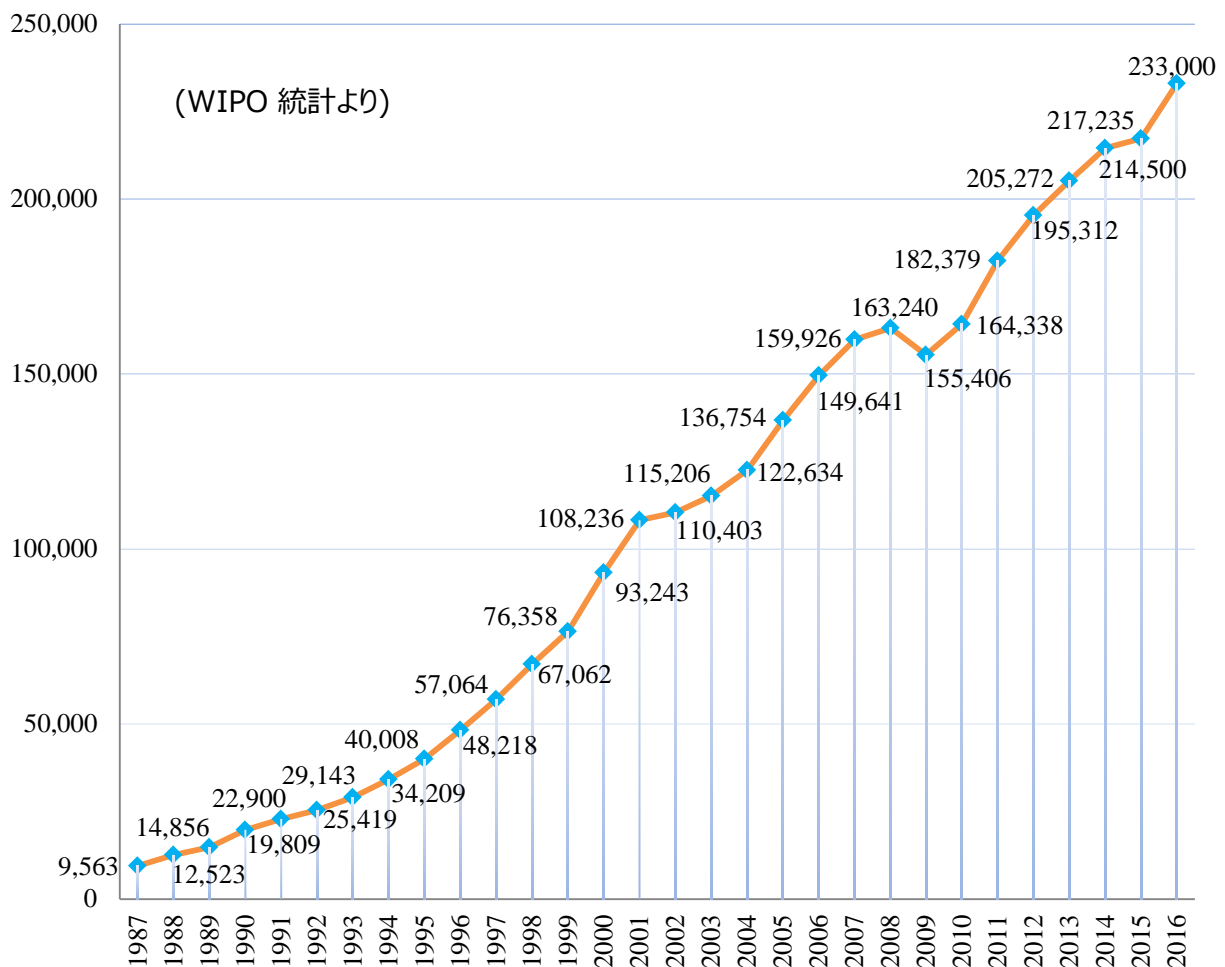
青和特許法律事務所 IP 情報室

WIPO（世界知的所有権機関）は、2017 年 3 月 15 日付プレスリリースで、2016 年の PCT 統計速報を公表しました。その概要を紹介します。

1. 国際出願件数の推移

2016 年の PCT による国際出願件数は前年より 15,765 件増（対前年比 7.3%増）の 233,000 件となり、過去最高を更新しました（**図 1**）。

〔図 1〕 国際出願件数の推移





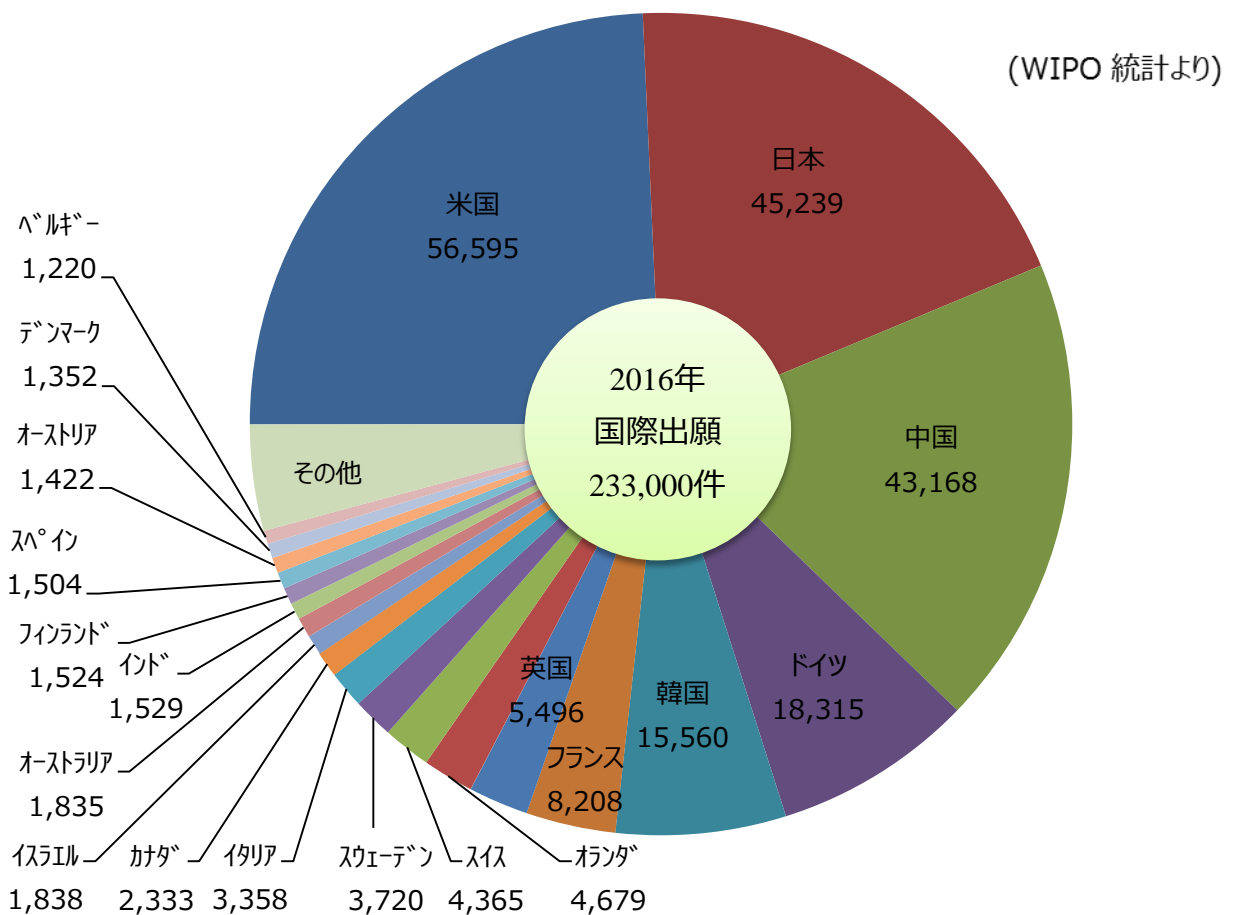
(注) 現時点では、2016年に世界の受理官庁に提出されたすべてのPCT国際出願を、WIPO国際事務局が受理官庁から受領していないため、本件の統計で示す2016年の国際出願件数は暫定的な予測件数であり、最終的な確定件数は後日WIPOから公表されます。

2. 国際出願件数上位20カ国

米国は39年間出願件数第1位を維持し、2016年は国際出願件数全体の24.3%を占める56,595件となりました。次いで日本の45,239件(全体の19.4%)、中国の43,168件(全体の18.5%)と続いています。

図2は、国際出願件数上位20カ国の国際出願件数と全体に占める割合を示したものです。昨年と比較すると中国の増加率が突出して高く、対前年比13,329件増の44.6%増で、件数でドイツを大きく引き離し、日本に迫っています。

〔図2〕国際出願件数上位20カ国

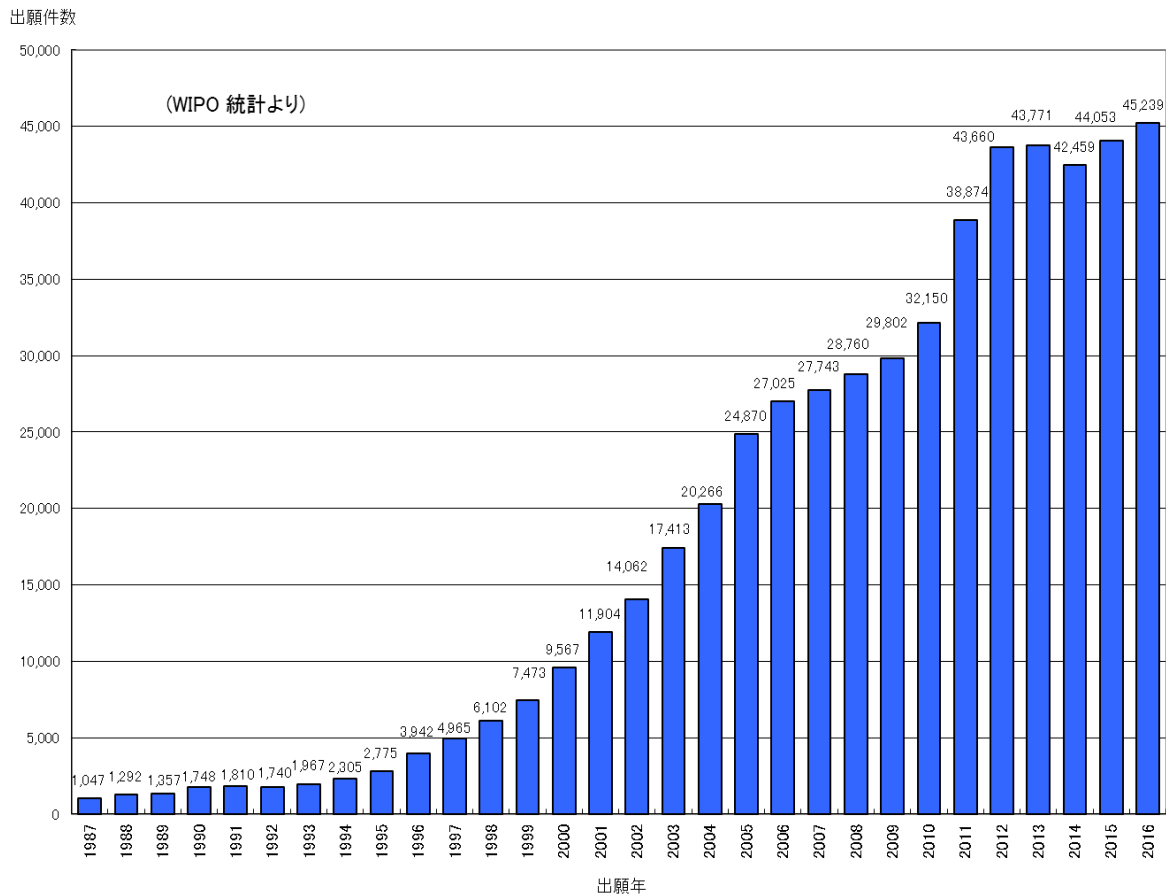




3. 日本の国際出願件数の推移

2016年において、日本は対前年比1,186件増（2.6%増）の45,239件となり、4万5千件を超え過去最高を更新しました（図3）。

〔図3〕日本の国際出願件数の推移



4. 出願人別国際公開件数

表1は、2016年に国際公開された国際出願件数を出願人別にカウントし、上位出願人20社の出願件数及び対前年比増減数を示したものです。

上位20社を国別にみると、米国と日本が5社、中国が4社、韓国とドイツが各2社、スウェーデンとオランダが各1社となっています。

また、上位50社を国別にみると、日本が18社と最も多く、次いで米国が13社、ドイツが6社、中国が5社、韓国が3社、フランスとオランダが各2社、スウェーデンが1社となっています。



〔表 1〕 国際公開件数上位 20 社（2016 年）

順位	出願人（前年順位）	国名	公開件数 （2016 年）	増減数
1	ZTE (3)	中国	4,123	1,968
2	ファーウェイ テクノロジー (1)	中国	3,692	208
3	QUALCOMM (2)	米国	2,466	24
4	三菱電機 (5)	日本	2,053	460
5	LG 電子 (7)	韓国	1,888	43
6	HEWLETT-PACKARD (10)	米国	1,742	423
7	インテル (12)	米国	1,692	442
8	BOE テクノロジー (14)	中国	1,673	446
9	サムスン電子 (4)	韓国	1,672	▼11
10	SONY (8)	日本	1,665	284
11	LM エリクソン (6)	スウェーデン	1,608	127
12	マイクロソフト (23)	米国	1,528	668
13	ロバート・ボッシュ (13)	ドイツ	1,274	27
14	シャープ (19)	日本	1,205	132
15	パナソニック (16)	日本	1,175	▼10
16	中国スター光電技術 (27)	中国	1,163	453
17	シーメンス (11)	ドイツ	1,138	▼154
18	フィリップス (9)	オランダ	1,137	▼241
19	ハリブルトン エネルギー (18)	米国	1,097	▼24
20	オリンパス (32)	日本	1,077	463
合 計			35,068	5,312

（WIPO 統計より）

出願人別国際公開件数について

個々の出願人の国際出願件数については、国際出願が公開された後でなければ公表できません。そのため、個々の出願人に関する統計は国際公開された国際出願のデータに基づいて作成されています。

国際出願の国際公開は出願日又は優先日から 18 月経過後に行われますので、国際出願の時より 6 月～最大 18 月遅くなります。そのため、2016 年に国際公開された国際出願は必ずしも 2016 年に出願されたものとは限りません。



5. 国際公開件数上位 10 技術分野

表 2 は、2016 年に国際公開された国際出願を技術分野別に分け、件数の多い上位 10 の技術分野の出願件数、全体に占める割合及び伸び率を示したものです。

上位 10 の技術分野をみると、デジタル通信、コンピュータ技術、電気機械等、電気・電子関係の技術分野、及び医療技術、製薬等、医療関係の技術分野の出願が上位を占めています。

〔表 2〕 国際出願件数上位 10 技術分野 (2016 年)

順位	技術分野	出願件数	占有率 (対前年比伸び率)
1	デジタル通信	17,776	8.5% (+10.7%)
2	コンピュータ技術	17,155	8.2% (+4.5%)
3	電機機械、装置、エネルギー	14,468	6.9% (▼1.3%)
4	医療技術	14,265	6.8% (+12.8%)
5	計測	9,338	4.4% (+8.5%)
6	輸送	8,716	4.1% (+0.8%)
7	製薬	8,216	3.9% (▼6.7%)
8	オーディオ・ビジュアル技術	7,069	3.4% (+7.2%)
9	光学	6,608	3.1% (+12.7%)
10	半導体	6,545	3.1% (+1.6%)

(WIPO 統計より)

6. 国際公開件数上位 20 大学・研究機関

表 3 は、2016 年に国際公開された大学・研究機関による国際出願の件数を大学・研究機関別にカウントし、上位 20 大学・研究機関の件数及び対前年比の増減件数を示したものです。

上位 20 大学・研究機関には、東京大学 (7 位) と京都大学 (20 位) が含まれています。国別にみると、米国が 10、韓国が 4、中国が 3、日本が 2、サウジアラビアが 1 となっています。

上位 50 の大学・研究機関には、名古屋大学 (21 位)、大阪大学 (24 位)、九州大学 (31 位)、東北大学 (32 位) が含まれています。国別にみると米国が 26 と圧倒的に多く、次いで韓国と日本が 6、中国が 5、サウジアラビアとシンガポールが各 2、デンマーク、スイス、英国、イスラエルが各 1 となっています。



〔表3〕 国際公開件数上位 20 大学・研究機関（2016 年）

順位	大学・研究機関名	国名	公開件数 (2016 年)	増減
1	カリフォルニア大学	米国	434	73
2	マサチューセッツ工科大学	米国	236	23
3	ハーバード大学	米国	162	4
4	ジョンズホプキンス大学	米国	158	▼12
5	テキサス大学	米国	152	▼11
6	ソウル大学校	韓国	122	27
7	東京大学	日本	108	7
8	スタンフォード大学	米国	104	5
9	漢陽大学校	韓国	101	33
10	フロリダ大学	米国	97	▼11
11	ペンシルヴェニア大学	米国	96	20
12	ミシガン大学	米国	94	▼22
13	高麗大学校	韓国	87	12
14	深圳大学	中国	87	58
15	KAIST	韓国	87	30
16	精華大学	中国	84	▼18
17	中国鋳業大学	中国	84	41
18	カリフォルニア工科大学	米国	73	▼1
19	アブドラ王立科学技術大学	サウジアラビア	72	32
20	京都大学	日本	72	▼4

(WIPO 統計より)

なお、より詳細の統計データは WIPO ホームページをご参照ください。

http://www.wipo.int/pressroom/en/articles/2017/article_0002.html

詳細データ

http://www.wipo.int/export/sites/www/pressroom/en/documents/pr_2017_804_annexes.pdf

ANNEX 1 国別出願数

ANNEX 2 出願人 TOP50

ANNEX 3 大学・研究機関 TOP50

ANNEX 4 技術分野別出願数

以上